



# 2024

# 国語

## 注 意

- 試験時間は、8:50～9:40の**50分**です。
- 問題は ㊦ から ㊧ まであります。
- 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
- 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
- 問題についての質問はうけつけません。
- 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

すみれちゃん（祖母）は、養子として迎えたひばり（私）の父となかなか打ち解けられず、孫にあたるひばりには特に愛情を注いでいる。すみれちゃんはひばりと協力して、親鳥に放置された野鳥の卵をふ化させ、その小鳥に「二人の魂を永遠につなぐ」役割を担うものとして「リボン」という名前を付けた。

五月になり、いよいよ待ちに待ったその日がやって来た。

リボンが誕生してから、ちょうど半年が経ったのだ。今日は、すみれちゃんとそのお祝いをする事になっている。

私は、少しだけ遠回りして、学校の帰りに児童公園に立ち寄った。そこには、リボンの好きなハコベがたくさん生えている。私はそれを、リボンへのお土産にしようと考えたのだ。もう、リボンは粟玉<sup>あわたま</sup>だけでなく、他の餌<sup>えさ</sup>も食べられるようになった。以前は温かい餌しか口に入れなかったのに、今は温かくないものでも自分ひとりですっかり食べる。とりわけリボンは、新鮮な青菜が大好物なのだ。

ハコベと一緒にスミレの花を少し入れたら、すごくかわいくなった。スミレの花は、遠くから見ると人が笑っている顔に見える。たくさん集めたら、ブーケになった。私からリボンへの、プレゼントだ。

① 片手にハコベのブーケを持ち、なんだか弾んだ気持ちになって、誰もいない路地をスキップしながら前に進む。地面に着地するたびに、ランドセルの中に入っている筆箱やノートや教科書が、派手な音を鳴らす。あとひとつ角を曲がれば桜並木で、家の玄関が見えてくる。リボンにもすみれちゃんにも、早く会いたい。

この間すみれちゃんが教えてくれたのだけど、リボンは私の帰宅時間が近づくと、お城の中でそわそわし始めるらしい。私が玄関を開けた瞬間に、パツとお城の出入り口へと移動して、一秒でも早く外に出ようと、扉の前で待ち構えているらしいのだ。だから、今頃もうリボンは、A を長くして私の帰りを待っている。

リボン、もうすぐだからね。

心の中からメッセージを送るようなつもりで、遠くのリボンに話しかけた。

けれど、角を曲がった瞬間、幸せな期待はあとかたもなく消え去った。すみれちゃんが、靴下のまま玄関先に倒れ込んでいたのだ。

「どうしたの！」

ハコベのブーケを握ったまま、私は全速力で駆け寄った。

「すみれちゃん！」

すみれちゃんの顔が、ひどく青ざめていた。②嫌な予感が、夕立みたいに一気に胸を支配する。

「リボンが、リボンがね……」

そこまで言うと、すみれちゃんは絶句して、子どものように力強く私にぎゅっと抱きついた。すみれちゃんが、私の胸の中で **b** べそをかいている。

「どうしたの？ ねえ、すみれちゃん、リボンがどうしたの？」

すみれちゃんの丸い背中をさすりながら、なんとか状況を聞き出したかった。すみれちゃんが、弱々しい息のような声でささやく。

「わたくしも、何かお手伝いができないかと思って……」

「それで？」

その先が早く知りたい。

「かごの掃除をしようと、リボンを外に出してたんです。その時に電話が鳴って、わたくしがうっかり、部屋の入り口を開けてしまったものですか」

すみれちゃんは涙声になりながらも続けた。その時に、リボンが逃げてしまったのだろうか。でも私は内心、リボンが大げがをしたとか、それよりもっと最悪のことを想像していたから、少しホッとしたようなところもあった。

「ごめんなさい、本当にごめんなさい。わたくし達の大切な宝物を……」

③すみれちゃんは涙をぼろぼろ流しながら、私にひたすら謝った。

「大丈夫、大丈夫だよ、すみれちゃん。絶対に大丈夫だから」

私は優しくささやいた。

だってリボンは、まだちゃんと生きているのだ。生きていれば、またどこかで会えるかもしれない。それに、すぐに戻ってくるかもわからない。頭ではそう思うのに、すみれちゃんの涙がうつってしまい、私の目にまで、涙があふれた。④悲しくなんてないはずなのに、なんだかどうしようもなく切ない気持ちだが、一歩ずつにじり寄って、私を動けなくする。

「ごめんなさい」

すみれちゃんが、そう言った時だ。桜の木から、黄色い鳥が飛び立った。

「リボン！」

私は、大声で呼んだ。

「おいで！ こっちだよ、戻っておいで」

リボンのいる方に向けて、精いっぱい腕を伸ばし、人差し指を差し出す。けれど、リボンは振り向かなかった。あつという間に、薄いピンの夕暮れの雲にまぎれてしまう。

「リボン！」

もう一度、声を限りに叫んだ。けれど、チューしようよ、という言葉は、声にならない。

すみれちゃんが、泣いている。私の目からもまた、涙がこぼれた。リボンがあんなふう空を飛ばたけりようになっていたなんて、これっぽっちも想像していなかった。

たった今大空へと飛び立ったリボンの後姿は、まるで本物のリボンのようだった。美しくちようちよ結びにしたみたいに、羽翼と尾翼が、きれいな末広がりになっていた。

私は蠟人形みたいに固まって、そのまま空を見続けた。もしかすると、もしかすると奇跡が起きるかもしれない。そう思うと、すぐには動くことができなかつた。足元で、すみれちゃんもぼかんと空を見上げている。

でもやっぱり、奇跡は起きなかつた。少し肌寒い風が吹き始めたので、私は覚悟を決め、喉の奥から声を絞り出した。

「中に入ろう」

すみれちゃんの脇の下を両手で支え、立ち上がらせる。それから、すみれちゃんの手をしっかりと握りしめ、玄関までの数メートルを、手をつないだままゆつくり歩いた。

リボンが宝物だつたのではない。

すみれちゃんとふたりで卵をかえたことや、まだ目の開かない頃に餌をやり続けたこと、リボンとすみれちゃんと三人で一緒に過ごした時間のすべてが、私にとっては宝物だつたのだ。だから、宝物が消えたわけではない。宝物は、ずっとこの胸に残っている。

リボンに生えた立派な風切り羽は、大空を飛ばたいたために神様が与えてくれたものだ。リボンは、空を飛ぶために生まれてきた。だから

あれが、本当の姿だ。

家に入る前、手に持っていたハコベのブーケをそっと土の上に放った。もしかしたら、リボンがまた、戻ってきてくれるかもしれない。大好物のハコベを置いておけば、ここが中里家(注1)の目印になる。リボンが私の肩かたから首の裏を通って反対側の肩に移動する時のくすぐったい感触かんじよくが、なぜだか突然甦よみがえった。墨汗ぼくじゆうをほとんと一滴いってき、丸く落としたようなつぶらな瞳ひとみを思い出した。

私はもう一度、空を見上げた。

この空のどこかに、リボンは確かにいる。

リボンは、生きている。これから先も、生き続ける。

だから、今日はリボンの門出をお祝いする日だ。リボンはきつと、空のどこからか、必ず私とすみれちゃんを見守ってくれている。だってリボンは、私とすみれちゃんの魂を永遠につなぐリボンなのだから。

⑥ 私はがんばってがんばって心を奮ふるいたたせてそう思おうとしたけれど、涙を止めることはどうしてもできなかった。やっぱりもう一度、リボンに会いたい。会って、リボンと一緒に遊びたかった。

(小川糸『リボン』による)

(注1) 中里家…すみれちゃんやひばりの家のこと。

問一 波線部 a・b の語句の意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

a とりわけ

- ア なぜならば  
イ かくべつに  
ウ わけあって  
エ わけもなく  
オ なんとなく

b ベそをかいている

- ア 泣きそうな顔になっている  
イ 大声を出して泣いている  
ウ いじけてすねてしまっている  
エ いらだつてもがいている  
オ かすかな声で何か言っている

問二 空欄Aには、体の一部を示す一字の漢字が入ります。文脈を考えて答えなさい。

問三 傍線部①「ランドセルの中に入っている筆箱やノートや教科書が、派手な音を鳴らす」とありますが、この表現からうかがえるひば

りの気持ちの説明としてもっとも適当と考えられるものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 緊張感があつてどきどきしている。

イ 何かがおこりそうでわくわくしている。

ウ 気になることがあつてそわそわしている。

エ 期待に胸をふくらませてうきうきしている。

オ 待ち遠しくてうきうきしている。

問四 傍線部②「嫌な予感」とありますが、どのようなことを「予感」したのですか。三十五字以内で具体的に答えなさい。

問五 傍線部③「すみれちゃんは涙をぼろぼろ流しながら、私にひたすら謝った」とありますが、このときの「すみれちゃん」の状態を説明したのもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア ひばりがこれまでになくかわいがっていたリボンが逃がしてしまい、つぐないきれない思いを感じている。
- イ すっかり気を許していたリボンが逃がしてしまったことで、裏切られたような絶望感から言葉を失っている。
- ウ まだ幼いリボンが危険な自然の外の世界をさまよっていることに、言いようのない不安やおそれを感じている。
- エ 二人の間をつなぐものを軽はずみな不注意でなくしてしまい、つながりが断たれたような悲しみを感じている。
- オ リボンだけでなくまだ幼いひばりまでもが老いた自分から、離れていってしまわないよう泣きながら頼んでいる。

問六 傍線部④「悲しくなんてないはず」とありますが、なぜですか。「宝物」という語句を用いて五十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部⑤「すみれちゃんの手をしっかりと握りしめ」とありますが、このときのひばりの思いとしてもっとも適当と考えられるものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 二人をつなぐリボンを失いぼうぜんとしている祖母の手を握ることで、つながりは失われていないことを伝えようとしている。
- イ 逃げたリボンはもう二度と帰ってくることはないことを自覚し、これからは二人だけでしたっきり生きていこうと覚悟している。
- ウ リボンを失って生きる気力までもなくしつつかある祖母の手をしっかりと握りしめることで、その生命力を確かめようとしている。
- エ リボンを失った上肌寒い風に吹かれ心身ともに凍えるような気持ちになつて、祖母の温かさを少しでも感じ取ろうとしている。
- オ リボンを逃がしてしまった祖母に対してあからさまにできない憤りを、手をしっかりと強く握ることで暗に示そうとしている。

問八 傍線部⑥「私はがんばってがんばって心を奮いたたせてそう思おうとしたけれど、涙を止めることはどうしてもできなかった」とありますが、このときのひばりの気持ちを、「思おう」とした内容も含めて九十字以内で説明しなさい。

問九 本文の特徴を述べたものとしてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 擬音語や擬態語を多く使用することで、小動物の感覚的かわいらしさを効果的に表現している。
- イ 歳の離れた二人の人物の気持ちをそれぞれの視点から語ることで、二人の強い絆が読み取れる作品となっている。
- ウ 祖母が小鳥や孫に分け隔てなく愛情をそそぐ姿を子どもの視点から描くことで、温かな雰囲気を作っている。
- エ 祖母であるにも関わらず「すみれちゃん」と独特の呼び方をしていくことで、幻想的な世界を作り出している。
- オ ひばりの視点から一貫して語ることで、子どもからとらえられた世界に読み手が共感しやすくなっている。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私の同僚の医療コミュニケーションの専門家から聞いた話。

ホスピスに末期癌の患者さんが入院してきた。五〇代の働き盛りの男性で余命半年と宣告を受けている。奥さんが二四時間、つきつきりで看護をしている。

さて、この患者さんに、ある解熱剤を投与するのだけれど、これがなかなか効かない。奥さんが看護師さんに、「この薬、効かないようですが？」と質問をする。ホスピスに集められるような優秀な看護師さんだから、患者さんからの問いかけには懇切丁寧に説明をする。

「これは、これこれこういう薬のだけれど、こちらの他の薬の副作用で、まだ効果が上がりません。もう少し頑張らしましょう」

奥さんはその場では納得するのだが、翌日も、また同じ質問をする。看護師さんは、また親切に答える。それが毎日、一週間近く繰り返されたそうだ。やがて、いくら優秀な看護師さんでも嫌気がさる。ナースステーションでも、「あの人はクレーマーなんじゃないか」と問題になってくる。

そんなある日、ベテランの医師が回診に訪れたとき、やはりその奥さんが、「どうして、この薬を使わなきゃならないんですか？」と



B かった。ところが、その医師はひと言も説明はせずに、

「奥さん、辛いねえ」

と言ったのだそうだ。

奥さんは、その場では泣き崩れたが、翌日から二度とその質問はしなくなった。

要するに、その奥さんの聞きたかったことは、薬の効用などではなかったということだろう。

「自分の夫だけが、なぜ、いま癌に冒され、死んでいかなければならないのか」を誰かに訴えたかった、誰かに問いかけたかった。

しかし、その問いかけへの答えを、近代科学、近代医学は持っていない。科学は、「How」や「What」については、けっこう答えられるのだけれど、「Why」については、ほとんど答えられない。

もちろん、大ざっぱな答えは、いくらでも出せるだろう。

「この人、タバコの吸いすぎでした」

「この人は、食生活が悪かった」

しかし、同じだけタバコを吸っていても癌になる人もいれば、ならない人もいる。遺伝子の研究などがもつと進んでいけば、その説明はもう少しましにはなるのだろうか、やはり究極のところでは、「Why」に答えることは難しい。なぜなら、人間存在それ自体に、理由がないのだから。

では、「奥さん、辛いねえ」と言ったところで癌が治るかと言ったら、これはまったく治らない。しかし、ご承知のように、ホスピスは癌を治す医療機関ではないのだ。治らない癌の患者さんとその家族に、残りの半年間を充実して過ごしてもらおうのが、この医療機関のスタッフの役目となる。

ただ、想像してもらえばわかると思うが、「余命半年」と言われて、「それでは、この半年間は、こうこうこの様に過ごしたいです」と  
X と言ってくれる患者さんや家族の方が稀だろう。たいていの方たちは、そのような宣告を受ければ、泣いたり、叫んだり、パニック状態に陥ったりする。終末医療の従事者は、その声なき声の中から、コンテキストをくみ取らなければならない。

実際、私は、最初に大阪大学に呼ばれたときに、医学部出身の幹部の方から次のように言われた。

「医者や看護師というのは、昔は病氣や怪我を治してあげれば、患者からも家族からも感謝されたいい商売でした。貧乏だったけど、誇りの持てる仕事でした。でも④いまは、医療が高度化しすぎて『治す』ということ自体が、医者自身にもよくわからなくなってしまった。患

者さんや家族の気持ちも複雑だ。一分一秒でも長く生きたいのか、痛みを緩和かんわしたいのか、家に帰りたいのか、一瞬いつしゆんでも職場もじゆに戻りたいのか、家族と一緒にいっしょにいたいのか、一人になりたいのか。さらに、そういった気持ちも、一人一つではない。それらをできる限りくみ取れないと医療行為いりょうこうゐにあたれないという時代になっている。ならば阪大では、できる限りそれをくみ取れるような医者や看護師を育てたい。そのためこのコミュニケーションデザイン・センターを作り、あなたを呼んだのだ」

どのコンピューター学者に聞いても、あるいは脳科学者に聞いても、人間と同じようにコンテキストを理解するコンピューターを開発するのは、今世紀中は無理だろうと言われてる。もちろん限定的な場面では、そのような能力を持った機械はいくらでも開発できるだろうが、人間と同じようにというのは、なかなか難しいらしい。

ということは、今世紀中、すなわち私たちが生きている間は、<sup>⑤</sup>子育てや教育や、看護や介護かいごは、やはり人間がせざるをえない。ロボットやコンピューターは、その手助けは、いくらでもできるかもしれないが、直接的には、我々人間が、この仕事を担になわざるをえない。なぜなら、子どもに代表される社会的弱者は、他者に対して、コンテキストでしか物事を伝えられないからだ。

(平田オリザ『わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か』による)

(注1) ホスピス：現代の医療では回復の見こみがない、重病の患者さんが入る施設しせつのこと。本文中にあるように、患者さんに残りの人生を充実して過ごしてもらおうことを目的としている。また、後にある「終末医療」は、そのような患者さんに対する医療行為や世話を指す。

(注2) 懇切丁寧：細かいところまで行き届く、真心がこもった対応をする様子。

(注3) ナースステーション：看護師さんたちが集まっている事務所のこと。

(注4) クレーム：苦情を言う人のこと。ここでは、無茶な要求や苦情を相手に押し付けおける人という意味で用いられている。

(注5) How・What・Why：英語で、「それぞれ」のように「なに」「なぜ」という意味。

(注6) コンテキスト：話の流れの中から読み取ることができる意味合いのこと。

問一 空欄A・Bに入る言葉としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

ア くつて      イ とんで      ウ わって      エ さして      オ のびて      カ よどんで

問二 空欄Xには四字熟語が入ります。ここに入る言葉としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 理路整然      イ 正々堂々      ウ 以心伝心      エ 言語道断      オ 一期一会

問三 傍線部①「優秀な看護師さん」とありますが、この「優秀な」という表現から読み取れることの説明として適当なものを次の中から

二つ選んで、記号で答えなさい。

ア 薬の効果やいつ効くかまで正確に予測することの大切さを読者に対して示している。  
イ 詳しい知識をもち患者さんに丁寧に説明してあげる姿勢への高い評価を示している。  
ウ 病状について患者さんに正しく認識させ納得させられる能力への感嘆を示している。  
エ 言葉の奥に隠された本当の思いには気付いていないことを皮肉によって示している。  
オ すぐには薬の効果を上げられない厳しい状況でも努力する姿への敬意を示している。  
カ 患者や家族の思いを受け止めてあげている心の広さから湧き上がる感動を示している。

問四 傍線部②「翌日から二度とその質問はしなくなった」とありますが、それはなぜですか。簡潔に説明しなさい。

問五 傍線部③「声なき声」とありますが、これはどういうことですか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で

答えなさい。

ア 自分のつらい気持ちを発散し、落ち着きを取り戻していくために必要となる泣き声のこと。  
イ 厳密で正確な言葉にしなくてはならないため、声で表現することが難しい説明のこと。  
ウ 泣いたり叫んだりといった全員共通の声の中に、自然と表れてくるその人らしさのこと。  
エ たとえ本人自身が混乱していたとしても、声からははっきり感じ取れる真の希望のこと。  
オ 相手に伝わるような明確な言葉にすることができていない、心の中にある思いのこと。

問六 傍線部④「いまは、医療が高度化しすぎて『治す』ということ自体が、医者自身にもよくわからなくなってしまう」とありますが、「昔」と「いま」の医者では求められていることとどのような違いがあるのですか。求められていることを、それぞれ簡潔に説明しなさい。

問七 傍線部⑤「子育てや教育や、看護や介護は、やはり人間がせざるをえない」とありますが、それはなぜですか。七十字以内で説明しなさい。

問八 筆者の主張の説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 現代では社会的弱者の手助けといっても様々な場合や方法が考えられるため、一人ひとりが思いを伝えていく工夫が昔よりも大切になっている。

イ 現代医療の限界を超えた高度な治療を發展させていくために、それとは一見関係ないように思えるコンテキストで物事を伝える能力が必要となる。

ウ 今後の医療などの現場では、自分ではつきりと意思を伝えることができない人々の思いも考えようとするコミュニケーションのあり方が重要となる。

エ 社会的弱者の人々は他者との関わりがどうしても少なくなりがちなので、コンピューターではできないような医療行為に参加させていくべきである。

オ これからの医療は、他に応用できない専門的なコミュニケーション技能を育てなくてはならず、社会的弱者がそこに逆にヒントを与える場合もある。

三

次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 日本は中東から石油をユニユウしている。
- ② コキョウには今でも祖父が住んでいる。
- ③ 積極的に生徒会選挙にリッコウホする。
- ④ 国語の解答はタテガきで答えましょう。
- ⑤ 必要のない包装はハブいて節約を心がける。

[問題はここまです。]









注意  
一字制限の問題では、句読点も  
一字として数えます。

一

二

三

②×5	④	⑧	⑤×2	④	⑥	③×2	③	②×2	④	⑩	④	⑧	④	⑤	④	②	②×2															
①	問八	問七				問六		問五	問四	問三	問二	問一	問九	問八				問七	問六			問五	問四		問三	問二	問一					
輸入	ウ	こ	ユ	す	、	子	いま	昔	オ	イ	ア	A	オ	さ	遊	と	出	ボ	自	ア	ら	出	三	リ	エ	。	し	リ	エ	首	a	
②		と	ー	る	自	ども	それに合わせた処置をすること。 患者の心の中の思いをくみ取り、 治療し、健康な体にする。昔 患者の病気やけがの症状だけを	自分が本当に訴えたかった思いを 受け止めてもらうことができたと感じたから。	エ		B		さ	び	ん	し	発	ン	分		。	は	人	ボ		。	ま	ポ			イ	
故郷		が	タ	こ	の	や					エ		B		し	だ	た	し	が	と			宝	で	ン			っ	ン			b
③		で	ー	と	の	患							A		く	こ	が	た	鳥	祖				物	一	は			た	が		
立候補		き	で	が	思	者									な	と	、	喜	と	母				と	緒	ど			の	大		
④		な	は	で	い	者									っ	が	そ	ば	し	の				し	に	こ			で	け		
縦書(き)		い	そ	き	を	な									た	自	の	し	て	魂				て	過	か			は	が		
⑤		か	の	な	明	ど									。	然	姿	い	本	を				胸	ご	で			な	し		
省(いて)		ら	思	い	確	の											と	や	日	当	永			に	し	生			い	た		
		。	い	た	な	社											思	感	だ	の	遠			残	た	き			か	と		
		を	め	言	会												い	触	と	姿	に			っ	時	て			と	か		
		く	、	葉	的										出	、	考	に	つ			て	間	い			い	、				
		み	コ	で	弱										さ	一	え	な	な			い	の	る			う	死				
		取	ン	表	者										れ	緒	よ	っ	ぐ			る	思	し			こ	ん				
		る	ピ	現	は										て	に	う	て	り			か	い	、			と	で				

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--